

東京市教育會藏書

部 冊	番 號	名 稱	部 類
一 部	第 二	御尋二付以書付 奉申上候	ノ 部
第 一	二 號		
加 部			

御尋二付以書付
奉申上候

東京市教育會藏書

拓

此下限所帶紙之付順逆有之由處清帳
 認此節は由案紙の限は可認の事
 其初はより無之原由其之段可認入

編纂

所傳二付以書付奉申上候
 松平下將守領分

勢洲素名所

一宿萬千三百四拾八石九斗二升八合

赤台宿

江戸ヨリ道法

九拾四里

石有町方之者耕作仕兼候二付百三拾十年程以
 所領並是方へ相願願分百石方へ相渡只今二兩
 八地高御座ナク候

卷之五十四

去
古卯年戊

一家教二千四百八十軒但往還屋十一ヶ町

裏町二十九ヶ町

内

本陣二軒

東船馬町

与六軒

川口町

善九右衛門

賜本陣四軒

東船馬町

源
源
七

江戸町

作左衛門

川口町

治部左衛門

裏町

本町

宗太史

菰菰屋 百二十二軒

一菰菰屋之内教置安多時呂杞置不申候

去卯年改

一人別八千二百八十一人

但男四百五十二人

女四千二百三十九人

一五人足 四十五人 日々違拂書

右ハ御足百人ノ内三十人ハ箱蓋蘭人足書面勅

人足四十五人引之錢リ二十五人不足之可ハ別

取三十二人少收箱所用物并諸所先觸敷人足扱

置候ニ付右之箱立ニ相成申候尤当箱取場之儀

ニ付大廻之寄ハ取場手傳人足并臨時所寄物持

込人足日有之儀ニ付箱立三十人相立其奈ハ取

御觸多ナリ猶又登リ四日節ハ行儀之場可殊ニ

下リ方前箱取海路七里渡ニ付呼置候人足日々

不用ニ相成候而箱方難越之儀取然ニ付助御和

熱之上右四十五人並拂似上ニ付助御方ハ相觸

候ナリ然ハ所右御廻行之節ハ取場ニ付所寄物

取扱候者熱之義送候ニ付右四十五人之内ヲモ

相觸仕候ハ置助御相觸候儀モ有之是又助御熱

談之儀ニ御座候

右五人足之儀当箱之儀ハ進々運爲仕御送百人

一人相成不申候	是二霜外近在二位居致	珠或青物等商致候者	八霜人足之代人	之儀	一地子所免許地所傳馬持居度數	此坪數九千二百九十一坪	一河度場	但河度二人一ヶ月十五日替り相勤日之河度	一人年寄一人肝煎二人馬騾一人小使二人
	平姓仲仕日産	与諸御通行居候之節	罷出候者共	多少所産候			川口町地内		
			所産候人數	付難相分候					

相詰申候尤所通行多中節ハ不殘出勤仕候
一人馬賃錢
五割増
申年正月日リ
子年十二月迄
拾年季

但二割増
三割増
申年正月迄
未年正月迄
初年季
初年季

内一割
内四割
渡申候
初候
二遠拂申候

水馬一疋	登り四月雨宿造
元賃錢	百五十一文
割増共	二百二十九文
輕尻一疋	同所
元賃錢	九十五文
割増共	百四十七文
人足一人	同所
元賃錢	七十三文
割増共	百十四文
一方之外	當國三會郡流野土方大和母孫御在所

八

人馬冠仕	元賃錢之儀者左之通仕来り御座
道法	五里余
元賃錢	四百十六文
馬一疋	五百十九文
但水馬輕尻	不拘元賃錢二百八文
人足一人	二百五十八文
值人馬賃者	並割増被付依付右ニ準已相
對	以予増錢仕受取来り依
色前	是物郷
村数	二十六ヶ村

一萬一千六百九十八石

内 松平下送守領分

勢津東村

高千六百七十七石 東方村

高三百七十二石 同領同 同領同 同領同

高三百四十四石 同領同 北河村

高七百二十石 東込上村

高百七十石 坊塚村

高九十五石 潘鷹新田

高八百二十七石 江基村

勢津東村

高三百一十三石	高六百七十八石	高百九十四石	高三百六十九石	高四百六十二石	高四百四十八石	高二百一十二石	高二千三百一十一石	高千八百八十五石	高千二百二十四石
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
大福村	安永村	上野村	榎田村	増田村	蓮花寺村	金井村	栗谷村	堀生村	堀生村

勢津東村

高 四百八十石	高 二百十八石	高 百三十八石	高 百五十二石	高 百六十五石	高 百四十六石	高 三百二十三石	高 三百二十一石	高 七十石	高 百五十石
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
豊田村	高松村	松原村	蔭田村	松守村	山城村	中里村	北山村	西大鐘村	養生村

養老郡 桑名町 桑名郡 桑名郡

高 百二十八石	高 百七十一石	高 百六十一石	高 百三十二石	高 百五十九石	高 百二十九石	高 四百二十二石	高 三百六十五石	高 百八十二石	高 二百六十九石
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
川北村	下宮村	鶴之宮村	重坂村	北坂村	木三郎村	南川村	北川村	石栗村	飯坂村

桑名郡 桑名町 桑名郡 桑名郡

西

二千二百八十一石 赤名助郷

一代助郷代々助郷当宿者兼御座候

一大所通行ノ節宿人馬并助郷人馬ニテ不足ノ

節ハ当領分ノ由助郷人馬ニ減シ依村方ハ領

主ヨリ馬解馬ト相唱ニ申付候

一当宿ヨリ登四日市宿迄之内

立場 五ヶ所 道法三里八丁

松平下條守領分

勢川寺名郡

但

赤名宿

一ヶ所 矢田町

当宿ヨリ右矢田町迄九二十四丁次之高場安

永村迄九五丁

同領同國同郡

一ヶ所 安永村

当宿ヨリ右安永村迄九二十九丁次之立場小

向村迄九五丁

同領同國同郡

一ヶ所 向村

勢川寺名郡

当番ヨリ右小向村迄九道法一里八丁次ノ立
場松寺村迄九十六丁

同領同國同郡

一ヶ所

松寺村

当番ヨリ右松寺村迄道法一里二十四丁次之

立場東富田村迄九二十丁

松平下條守領分
勢川朝四郎

一ヶ所

東富田村

当番ヨリ右東富田村迄道法九二里八丁次之

病四日市迄道法九一里

江戸之方船場東船馬町ヨリ南宿場大福村境迄
一里内町長二十六丁一兩余

但往還通船内町敷

十一ヶ町

東船馬町 棟西一丁十七間三尺余
内南北二十七八間三尺

東船馬町地先ニ有之

一領込番所 一ヶ所

但普請之儀八領主ヨリ被致候

東船馬町地先船場ニ有之

一船會所 一ヶ所

全所

一伊勢大神宮一之鳥居

高九一丈六尺
横九一丈三尺

川口町

南北一丁二十二間五尺

江戸町

南北一丁八間四尺余

一安洞二条右惣社鳥居有之林者江戸ヨリ右之

方八三十間余引込居申候

片町

南北二丁二間二尺余

京町

東西二丁二十三間五尺余

京町即門西之端ニ有之

一惣町一ヶ所

但
京町白
領五日リ被致候

一番所一ヶ所

普請之儀ハ領主ヨリ被致候

吉津屋町

南北三丁五十二間

内東西五十一間一尺余

吉津屋町内ニ有之

一惣門

但字吉津屋町門

普請之儀ハ領主ヨリ被致候

一番所

清請之儀ハ領主ヨリ被取候

吉澤屋町地由字七ツ畝

一石橋

一ツ所

但堀川

右清請之儀ハ領主ヨリ仕候

新町

南北二丁二十九間二尺
西十二間五尺

一餘地五百八十六坪

京果生光内寺末
淨土宗瑞瑞山光内寺

右光内寺之儀者江戸ヨリ右之方往還付内前

邊五間引込居申候

京知恩院末

一餘地九百三十二坪 淨土宗鎮照山光徳寺

右光徳寺之儀ハ江戸ヨリ右之方往還付内前

邊六間引込居申候

京西本願寺末

一餘地二千五百七十四坪 淨土真宗

柳堂 法 益 寺

右法益寺之儀者江戸ヨリ往還通左之方裏町

邊町通。有之儀得共新町ヨリ東之方見通シ

九三十間程引込居申候

傳馬町

南北二丁四十間
宗知異光也傳馬町

一餘地七百九十坪
淨土宗佛光山十念寺

右十念寺之儀
江戶ヨリ右之方往還付門前

近凡十四間
引込居申儀

甲別身延山
久遠寺未傳馬町

一餘地六百四十四坪
法花宗妙苑山壽量寺

右壽量寺之儀
江戶ヨリ右之方往還付門前

近七間
三尺引込居申儀

一身田
壽修寺未傳馬町

一餘地九千九百十四坪
七分高田宗願隆寺

右願隆寺之儀
江戶ヨリ右之方門ヨリ町内

境往還廻リ
追潤敷九三十六間
余引込居申儀

京興西寺未傳馬町

一餘地百九十四坪
淨土真宗長田寺

右長田寺之儀
江戶ヨリ右之方往還付門前

近六間
余引込居申儀

京西本願寺未傳馬町

一餘地百七十三坪
淨土真宗教恩寺

右教恩寺之儀
江戶ヨリ右之方往還付門前

近九間
引込居儀

傳馬町地先三有之

一天不戸 一ヶ所 号釘貫内

齊請之儀者領主ヨリ被致候

一番所 一ヶ所

齊請之儀者領主ヨリ被致候

鍋屋町 東西四丁四尺餘 内南北二十九尺餘

租鍋屋町之内東之方町界並十一軒

江場村地先二所度候

当地新町先 鍋屋町

一餘地千百五十坪 浄土宗御影山本願寺

京西本願寺

一餘地二百六十四坪二分五厘 浄土真宗 明因寺

右明因寺之儀者江戸ヨリ右之方往還ヨリ門

前迄九十間一尺引込罷在候

夫田町 東西二丁五十八間

京西本願寺

一餘地二百七十坪 浄土真宗 教覚寺

右教覚寺之儀者江戸ヨリ右之方往還ヨリ門

迄九八角五尺引込居申候

京西本願寺

夫田町

一除地三百九十坪	淨土真宗善西寺	延元八間引込尾申儀	福江町	南北一丁四十四間四尺余	京三盛院未	一年貢地八十九坪	修驗者	大善院	右大善院之儀者江戸日方之方往還付箱内	家五二御座儀	一箱内往還道之外裏町	二十九町	江戸日方之方
----------	---------	-----------	-----	-------------	-------	----------	-----	-----	--------------------	--------	------------	------	--------

本町	宮邊町	職人町	油町	南栗町	田町	北島町	三崎通町	宝殿町	風呂町	宮町	元船町	東船町	西船町	中船町	北船町	新船町	大工町	寺町	提原町	今一色片町	中町	北町	大北町	大一九町	江戸日方之方
----	-----	-----	----	-----	----	-----	------	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-------	----	----	-----	------	--------

船屋町 入江町 葦町

置町

一馬丸場 二ヶ所 東船馬町之因

内 一ヶ所 船場南之方北向

一ヶ所 今所北之方南向

右等請之儀者額出日日被致候

當病之儀ハ船場手扱ニ付先年ヨリ

二ヶ所ト相成度

船内江戸之方日りに左之方

一松平下徳守居城

馬場惣社 江戸東叡山宗

一卯朱下 百石 別当宝真山佛眼院

春日大明神 相殿 社家 四人

三崎大明神 相殿 社家 四人

但境内 南西六十間 北西六十間 余 神事七月十七日

余禮 毎年八月十八日

右社之儀者江戸ヨリ右之方往還通江戸町片

町之南ヨリ見通シ三十間余引込町前裏町通

宮廻町及並ニ御座候鳥居者往還通家並ニ御

座及別当所佛眼院之儀者裏町南裏町ニ御座

儀

當冠錫屋町傳寺

一 祭地三百坪四分六厘 社傳

錫屋町本願寺

天武天皇社 祭礼 每年六月十六日

右社之儀者江戶ヨリ往還右之方錫屋町ヨリ

見通レ内ヨリ往還迄間敷九十五間二尺引込

右内相離本願寺地内。所産依鳥尾者往還家

並ニ所産依

當冠夫田町錫主 社人 石垣左近

一 祭地六百十七坪五分

祭礼 每年九月十九日

右社之儀者江戶ヨリ往還右之方矢田町ヨリ

見通レ往還ヨリ門前迄間敷九十二間二十六間

二 尺子之方ハ刀込箱内相離夫田村把内ニテ

近辺四面ニ所産依鳥尾者往還通リ家並ニ所

産依

當冠ヨリ登リノ方

一 町原川ハ 九丁敷 三十丁

一 同 朝内川ハ 九道法 一里二十丁

一 同 海老川ハ 九道法 三里一丁

一 周三龍川、九道法 三里七丁

一 雪霜日、登り四日市宿、追河、村都合十六ヶ
町

寺名領
明致寺名部

大福村

一 当村銀号 一及四畝二十四步

一 年貢地 牛頭天皇 祭礼毎年六月十四日

一 友社之儀者、往還道三戸口、右之方八十間程
引込居申候

京西本願寺末

一 年貢地七畝二十二步 浄土真宗了順寺

右了順寺之儀者、往還道江戸ヨリ左之方九八
間程引込居申候

一 土橋 一ヶ所 悪水落

一 佃普請之儀者、領主ヨリ被致候

一 高丸 一ヶ所 往還道江戸ヨリ右之方

一 佃普請之儀者、領主ヨリ被致候

一 雪村之内、往還道御朱印地、并石橋、板橋、鳥居、厩

一 儀 寺名領

寺名領
豊州赤石郡

安永村

一 雪村銀主七畝二十步

一除地 神四宮 祭礼每年九月十六日

右社之儀者往還道江戸日右之方三十兩程

川込尾申候

京東木賴寺末

一除地一丈六畝八步

安土郡 晴雲寺

右晴雲寺之儀者往還道江戸日右之方一三

十兩程引込尾申候

一吾村之内徑邊御朱印地并高北場土橋石橋板

橋寺邊御座候

安土郡繩生村共會場野川橋長町三十八間

但中洲有之候三竹板橋二ヶ

町、相成申候

右晴雲之儀者領主日杖取候

右板橋普請之儀昔者自昔晴野、御座候所

難波仁候三台中古日右晴雲之儀相願置候

所近年橋長、相成由被入諸任来難波三付

即公儀様、御座候金之儀所願申上右助成、

以テ橋由廣ノ普請之儀、獨方ニテ相続仕候

一吾村之内御朱印地并土橋石橋魚所座候

一高北場野魚所座候

赤名領
御生村

馬國赤名郡東方村大福田寺末

一 草賣地 三畝二十五步 真言宗金光寺

右金光寺之儀者往還通江戸日石之方凡三

十間川込居申候

京西本願寺末

一 餘地 五又二步 淨土真宗 真光寺

右真光寺之儀者往還通江戸日石之方凡三

十間川込居申候

一 高札	一ヶ所	俱在還通江戸日石之方
一 石橋	一ヶ所	但當村鬼永
一 土橋	一ヶ所	全所
右二ヶ所共善坊之儀者領主日仕候		
一 當村往還通之内所	寺名領	寺名領 朝那
	寺名領	寺名領 朝那
一 餘地 五畝步	京西本願寺末	京西本願寺末
右海泉坊之儀者江戸日石往還通右之方凡		
十八間程引込居申候		

一 枝橋

一ヶ所

但

字星川

一 土橋

三ヶ所

但

村中鬼水

右青竹之儀者四ヶ所共領主ヨリ仕儀

一 當村之由在邊迎所赤平地系高札場石橋寺地

所産儀

赤
領
部

柳村

一 餘地五畝步

京東赤嶺寺跡
山田光寺

右西光寺儀者往還通江戸ヨリ右之方十五間

禮引込馬申儀

一 當村鎮守餘地三畝步

一 貴布祢大明神

祭礼毎年正月二十日

右社之儀ハ往還通江戸ヨリ右之方九一町三

十間程引込馬申儀

餘地三畝步

一 牛頭天皇社

祭礼毎年八月十六日

右社之儀者往還通江戸ヨリ右之方一丁三十

間引込馬申儀

一 土橋

一ヶ所

但

字朝明川

一 田

四ヶ所

但

村中鬼水

右観音堂之儀者往還通江戸ヨリ右之方二所
程候

京西本願寺

一 餘地三五歩

浄土寺

長明寺

右長命寺之儀ハ往還通江戸ヨリ右之方二所
程候

一 土橋

二ヶ所

但

村中用水

右普請之儀者領主仕候

一 当村御邊道之内御朱布地系高札場等通河
候

音名

豊洲郡

西 富田村

当村集守餘地一丈歩

一 八幡宮

村持

祭礼

毎年九月十五日

右社之儀者往還通江戸ヨリ右之方九一丁程

一 込居申候

京西本願寺

一 餘地五畝歩

浄土寺
山下三光寺

右三光寺之儀ハ往還通江戸ヨリ右之方十河

一 井引込居申候

一 当村之内往遠通河朱印地并土橋石橋板橋等
 魚沼廣敷

葉名領
 勢林朝明郡
 東馬田村

陰地四畝十五步 当村修寺

一 八幡宮 村持 祭祀每年九月十五日

右社之儀者往遠通左之方三御座供

陰地地一畝二十步

一 山之神 二社 祭祀無御座

右社之儀者往遠通右之方二御座供

一身田專修寺未

一 陰地五畝步 高田系 蓮光寺

右蓮光寺之儀者往遠通江戸ヨリ右之方凡三

十間針川之居申供

一 馬札 一ヶ所 但往遠通江戸ヨリ右之方

右馬札之儀者領五日仁供

一 土橋 四ヶ所 鬼水

右土橋之儀者領五日仁供

一 当村之内往遠通河朱印地石橋板橋等魚沼廣敷

候

東名

郡

北

除社地九十步

一善宮八幡宮

村時

除社地 十五坪

一山之神

村時

右兩社共在遠通江戸ヨリ右之方凡三十河程
川之居申候

一身内専修寺示

一除地

百五十坪

高田米

善教寺

右善教寺之儀者往遠通江戸ヨリ左之方二十

河程引込申候

一除地百五十坪

村時

藥師堂

右藥師堂之儀者往遠通江戸ヨリ右之方二十

河程

一石橋 一ヶ所

字十四川

右善教寺之儀者自善教寺

一宮打之内往遠通所米下地并高札場板橋寺邊

河程候

東名

郡

一餘地五畝步	京西木野寺	萩原村
右常照寺之儀者往還	江戶ヨリ右之方九十	寺
間程引込居申候		
一除地五畝步	京西木野寺	
右澄内寺之儀者往還	江戶ヨリ右之方九十	寺
五間引込居申候		
除社地三畝步		
一稻荷大明神	村持	祭礼毎年八月二十日
右社之儀者往還	江戶ヨリ左之方九十間	

程引込居申候		
一土橋	一所	鬼水落
右善法之儀者領主ヨリ仕候		
一当村之内往還	川原地赤高丸場右橋板橋	
魚所産候		
	京名領	
	青島朝郡	
	八幡村	
一当村惣寺除地七畝步		
一八幡宮	村持	祭礼毎年八月十五日
右社之儀者往還	江戶ヨリ右之方松林之内	

二 川 産 供

一 土 橋 四ヶ所

但三ヶ所鬼水落

一ヶ所子沢野川

右善坊之儀ハ領主ヨリ被致候

一 子 采 内 川

右者常永魚沼産候ニ付橋掛不申出氷之前ハ

使橋仕候

一 当 村 産 運 通 之 内 御 采 印 地 并 高 札 石 橋 板 橋 等

魚 沼 産 候

業 名 領

魚 沼 郡 内 郡

羽 津 村

当村無守除地七又歩社八 森 云 雲

一 志 民 神 社

南 法

祭礼毎年九月十七日

一 高 沖 前 社

右社之儀者産運通江戸ヨリ右更方九三四程

川込島産者産運通ニ所産候

西本願寺末

一 除 地 七 畝 二 十 三 步 阿 古 采 初 野 山 光 明 寺

右光明寺之儀者産運通江戸ヨリ右更方九二

十 阿 野 川 込 島 中 候

魚 沼 郡 内 郡

能登園惣持寺

延命山正法寺

一除地二又一段六步餘
右正法寺之儀者往還迎江戸ヨリ右之方九五

丁計引込后申儀

一土橋 二ヶ所 村中悪水落

右普清之儀者領主ヨリ仁儀

一土橋 一ヶ所 宇羽津川

右普清之儀者加納天和守孫御領分三重郡東

阿倉川村当村立會持ニ所居儀

一高札 一ヶ所 但當村内往還迎江戸ヨリ右

之方

右普清之儀者領主ヨリ被致儀

一當村往還迎之内所朱平地并石橋板橋等並申

居儀

加納天和守孫領分
東阿倉川村

出郷子三ヶ家

一土橋 一ヶ所 但字二重邊谷川

右普清之儀者桑名領羽津村立會ニテ自普清

ニ所居儀

一土橋 一ヶ所 佃 海 荒 川

右等請之儀者多羅尾敷有採所及配之所三重
郡濱之一色村立會 之入用者村持 之仕来り申候

之入用者村持 之仕来り申候

一当村往還道之内御朱印地餘地神社佛閣并高
丸場石橋板橋無御座候

多羅尾敷有採所及配所

勢高 三 御 所 永 村

一車賣地三畝二十名御堂法盛寺永法源寺

一当村往還道之内御朱印地并高丸場石橋板

土橋等無御座候

一当村之儀ハ往還道江戸ヨリ右ニ付行側出那

御座候

多羅尾敷 勢高 三 御 所 永 村

滿之一色村

一当村往還道之内御朱印地餘地神社仏閣并高

丸場石橋板橋土橋等無御座候

一琉球人参府ニ付御手當之儀当相通行魚之儀

ニ付右御手當頂戴不仕候

兩方助成會

余	之	外	諸	往	來	之	文	依	二	付	所	請	役	所	見	分	有	之	熟	田	依	屋	索	石	四	日	市	四	ヶ	箱	船	賃	十	ヶ	年	之	相	割	増	成	役	作	年	之	所	取	立	二	相	成	所	仕	法	相	立	金	二	千	五	百	兩	索	名	箱	依	屋	箱	江	相	借	役	作	付	分	後	日	之	上	納	仕	船	賃	錢	割	増	割	錢	利	償	都	合	四	千	五	百	兩	積	金	二	相	成	年	一	割	之	利	是	ヶ	以	箱	外	村	々	江	御	貸	付	右	利	是	ヶ	以	索	名	箱	四	分	佐	屋	箱	六	分	之	割	合	二	ヶ	金	四	百	兩	右	箱	江	被	下	置	殘
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

金	五	十	兩	宛	向	年	為	所	自	考	御	倉	藏	江	上	納	仕	置	做	所	下	知	被	成	下	依	處	最	初	日	リ	甚	難	堪	多	中	之	渡	方	行	屬	不	申	做	二	付	少	ヶ	宛	元	立	金	借	入	渡	方	取	計	申	依	所	造	ヶ	利	是	金	相	増	千	七	百	四	十	兩	程	相	成	依	改	箱	方	取	計	仕	索	依	二	付	其	改	領	主	役	可	口	相	運	依	處	石	借	金	利	下	ヶ	被	申	付	有	金	千	二	百	兩	年	一	割	立	分	之	利	是	二	ヶ	貸	付	右	利	金	年	之	借	金	元	口	相	渡	被	申	依	文	化	十	二	亥	年	正	月	一	金	三	千	兩	信	梁	所	以	所	一	割	二	分
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

信梁所一割二分

北利足金三百六十兩

右之小沃金二百九十兩

全七十兩

金注江元利金之
年相成
橋取編用

一右者往還筋船場日一里程上之方安永村繩

生村之間字町屋川板橋過口川瀬相代川橋廣

相成往來通路是依自其後道中御奉行所日

御願申上方金子御代官多羅尾敷願標於御後

野御賃付被仰付二十五ヶ年自一至橋中廣

掛還依月論見所下知有之當時板橋王少白橋

廣久還督置申依故往來通路是與御所依

一竹末七石

内

三石五斗
三石五斗

船屋二人
船屋四人

右者向屋給米被下置二付毎集信樂於御後所

奉受取銘々配分頂戴付依

一御米四十一石七斗二升八合

右者御懸飛脚為御用寬永十周年日リ被下置

每車竺松於所及所相場口以右代敷奉定

取依

一時之鐘者鎖其城内に有之依二百兩万手当寺

魚御唐依

一當時旅籠錢之儀二百文日リ百二十四文位至

一	金二百七十兩	金	分	宗佐村
一	金二百七十兩	金	分	宗佐村
是	二年一割五分利	是	以	每年十一月元利共
受取	申伏去却年貸付高	御座	做	
一	金二千六百六兩			
右	者	宿方	ヨリ	貸付之金尤先方御領主様
物	頭	所	役人表ヨリ	當領之方役人中口談合
ノ	上	年	一割五分之利	是ヨリ以御貸渡申御得共
利	是	金	之	儀一宿方勘定不地領主役所ヨリ致

取	扱	向	年	者	金	相	立	依	様	仁	法	中	御	座	取	右	利
一	金	六	百	七	兩												
是	金	之	内	ヨリ	借	金	利	是	以	少	々	相	渡	申	依		
永	二	百	九	十	四	文	五	分	三	厘							
此	年	賦	元	利	金	百	三	十	二	兩							
永	百	十	四	三	文	一	厘										
是	者	寬	政	六	策	年	ヨリ	七	々	度	貸	付	置	依	所	寬	
改	九	子	年	ヨリ	申	年	迄	四	々	年	之	間	元	利	相	滞	者
方	難	渋	二	角	御	公	儀	口	所	願	申	上	依	外	信	樂	御
所	々	年	賦	二	角	渡	被	下	依	殘	金	書	而	之	通	二	御

届不申候ニ付船方ト熟談之上領主役所ノ勘
 弁之儀相頼則役方ヨリ金ハ利解可申候候テ
 孰ト決立致シ可造候由當時々成ニテ聞
 濟之趣ニ申出候尤船方ハ大造ニ借金ハ船方
 卜相合ニ船方割増之月ヨリ年ニ金五十兩ツ
 一役所ノ差出シ右之方金立一渡ニ相成候右
 借金高年々還リニ相成届候當時勘定申之儀
 ニ御座候

一宿役人并助郷役人西前

素右宿問屋

孝 兵 兵

考 十 郎

全 年 寄

弥次右衛門

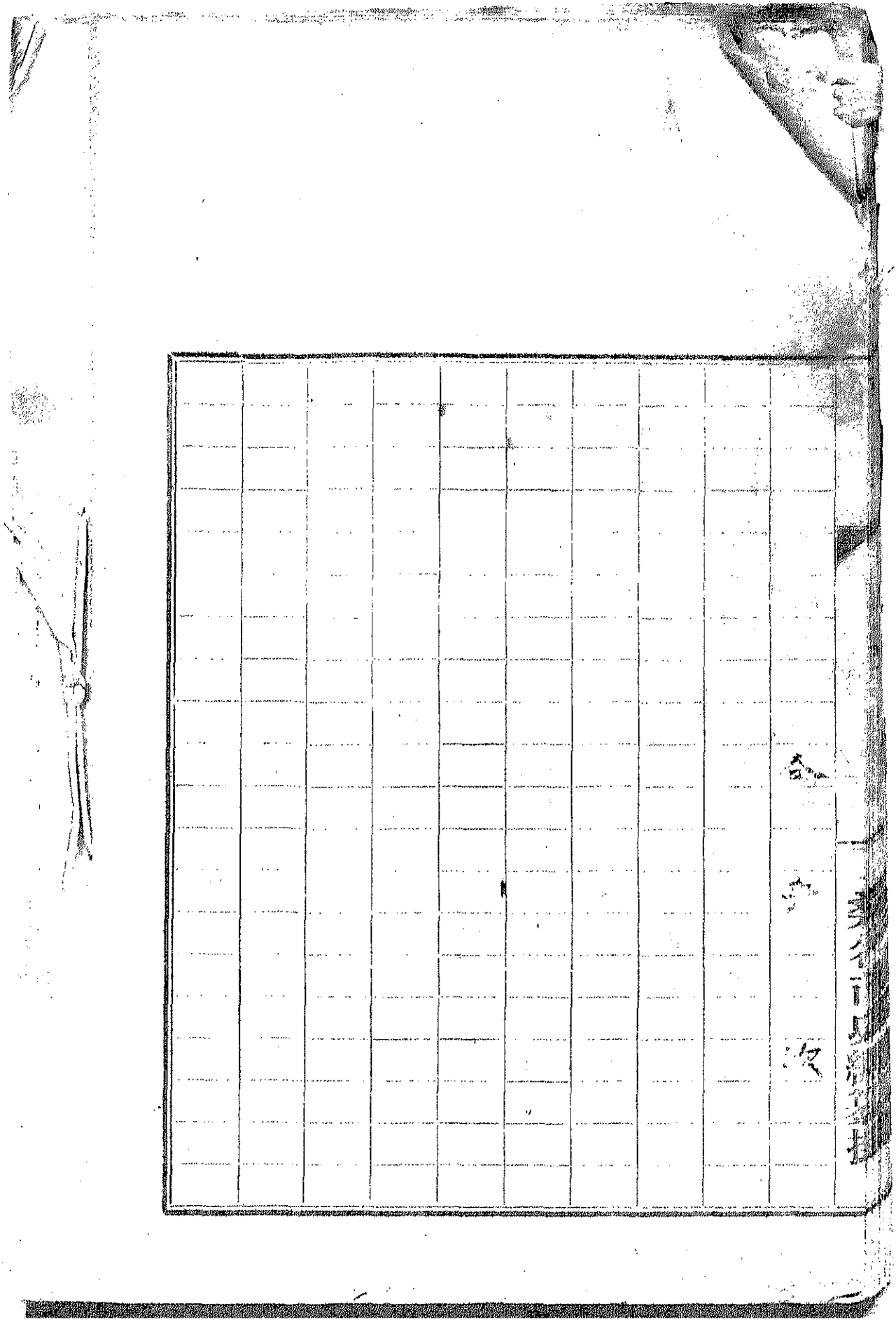
仁 平

首 九 郎

全 肝 萬

平 八

素右宿問屋



銀
兩
錢
分
厘